

世界基準のカントリークラブが誕生 帝王が創る日本で最後の理想郷！

本格的チャンピオンコースを中核に、馬主クラブや農園や子供が遊べる森を付設した複合的なゴルフ場が誕生する。そこは、メンバーの家族が各種のアクティビティを通じてソサエティを形成する場。真の「カントリークラブ」である。手掛けるは、超一流プロゴルファーにして名設計家、ジャック・ニクラス氏。帝王の造った理想郷とは――。

「東京クラシッククラブはゴルフを楽しむだけの場所ではありません。確かに付属するゴルフコースは私が設計しました。けれども、乗馬、森の中のハイキング、クラブ内のダイニングでの仲間との語らいなど、ファミリーや友人たちと愉しみを共有することができると、真の意味でのカントリークラブです。ただのゴルフ場ではないのです」

ジャック・ニクラスはこう切り出した。彼は史上最高のゴルフファーと称えられ、アメリカでは「ゴールドエンベア」、日本では「帝王」とも呼ばれている。また、ジャックはゴルフ場の設計家としても知られており、日本だけで24のコース、世界でも多くの名コースを手掛けている。

3つのアクティビティが ゴルフコースに併設

開場は2016年春。都心から車で約50分、電車ならば最寄りの菅田駅経由で現地まで約1時間という至近の場所。

●馬主クラブ
何よりも特徴はゴルフコースだ。18ホール、全長7220ヤードの本格的チャンピオンコースで、景観の美しさと戦略性の高さを兼ね備えている。そして、同クラブにはゴルフコースの他に3つの施設が併設されている。

引退したサラブレッドが暮らす厩舎および放牧場が設けられている。来場者は馬に乗って森のなかの道を巡るホーストレッキングの他、馬と触れ合い、世話をすることもできる。ホーストレッキングコースは日本初となるゴルフ場内外にあり、プレーしている仲間を見ながら馬に乗ることもできる。そんなことができるメンバーシップクラブは日本ではここだけだ。

●クラインガルテン
敷地のなかに設けられた有機野菜、無農薬野菜を育てる農園のこと。有機肥料にはサラブレッドの馬糞および余った野菜くずなどを発酵させて作った完熟堆肥を使用する。収穫した野菜はクラブのレストランの食材、

となるばかりでなく、来場者が買って帰ることも可能だ。

●教育の森
敷地内にある豊かな森ではさまざまなアクティビティができる。木登り、ツリーハウス作り、ハイキング、マウンテンバイク、クライミング…。季節に応じて、子ども向けサマーキャンプ、昆虫採集イベント、工作教室、陶芸教室などが開催される。

世界3位のゴルフ大国 果たしてその実態は……

日本のゴルフクラブの歴史は「真のカントリークラブ」とはほど遠いものだった。企業の接待用に開発され、そして普及してきたと言っている。特にバブルの前後からは日本の発明「預



託金制度」が投機目的のゴルフ場開発を後押しした。そのため、現在、ゴルフクラブは全国に2400もある。ゴルフ場の数だけで言えば日本はアメリカ、イギリスに次いで世界第3位だ。

しかし、プレーヤーの行動はこのゴルフクラブでも似通っている。せかせかとプレーをし、ひと風呂浴びて帰るだけ。メンバー同士の交流もなければクラブに対する愛着もない。

いったい、日本のゴルフクラブはこうした形のものだけでいいのだろうか。そうした問いに対する答えがジャック・ニクラス設計のコースを持つ東京クラ

シッククラブだ。リーマンショック、東日本大震災以後の価値観の変化に対応し、しかも、これからの百年を見通したカントリークラブと言える。

真のクラブライフを 築き上げる担い手とは

さて、ジャック・ニクラスの話に戻る。

「アメリカでもヨーロッパでも乗馬ができ、ゴルフができるカントリークラブはいくつもある。乗馬クラブの方が先にできて、そこにゴルフコースが併設されたというカントリークラブも少なくない。私は『休日には家族

とゆっくり過ごす』ことを大切にする東京クラシッククラブのポリシーに賛成だ。こうした真の意味でのカントリークラブを目指すクラブができることは歓迎すべきことだろう」

彼はコース設計については次のように言っている。

「ゴルフコースはまず何よりも景観が美しくなくてはならない。それがもっとも重要だ。このコースは土地そのものがすばらしかった。樹木もたくさんあったし、水にも恵まれている。ゆるやかな起伏があり、ゴルフをしていて楽しくなるような地形だ。そして、私はコース内に多くの樹木を配した。ただし、樹木があることによって、プレーヤーにベナルティを課すような設計にはしていない。樹木はあくまで景観のためにある。このクラブは、今流行のやたらと距離のあるコースではないが、ショットバリエーションもあれば戦略性もある。グリーンの大きさは中くらいだけれど、小さくはない。アスリートにもアベレージゴルファーにも楽しめる。私はもう『オジサン』だから昔ほどの実力はない。でも、そんな私でも何度もプレーしてみたくなるコースになったと自負している」

最後に、彼が考える真のクラ

ブライフとはどういうものかを尋ねてみた。

「私にはアーノルド・パーマーという尊敬すべきライバルがいた。彼とは50年近くにわたり、死闘を繰り返した。コンペティションの間はいつも打ちのめしてやるとしか考えていなかった。だが、いったん、プレーが終わったら、私たちは握手をして、一緒にクラブハウスで晩飯を食った。ゴルフはあくまでもゲームだ。負けたからと言って人間性が棄損されたわけではない。ゴルフは人と人が触れ合うスポーツであり、人と人との関係をより近づけることができる。ゴルフを通じて、知り合いになり、関係を深めることが重要なんだ。私の役割はコースの設計だ。だが、クラブとクラブライフを完成させるのは私の役割ではない。クラブライフを充実させることができるのはメンバーひとりひとりだ。メンバーがみんなでクラブを作り、クラブライフを豊かにしていく。東京クラシッククラブではそれができると信じています」

エリアマップ



東京クラシッククラブには、さまざまなアクティビティが併設する

ゴルフコースの造成を見守るジャック・ニクラス氏。設計家としても名高い。

COMPANY PROFILE

東京クラシッククラブ

東京クラシッククラブの所在地：千葉県千葉市若葉区和泉町237番地3
※首都高速・箱崎ICより車で50分、電車なら東京駅より60分（JR外房線「菅田」駅から5km）
http://tokyo-classic.jp/

お問合せ先：東京クラシッククラブ事務局
〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-23
TEL：03-6804-1606

株主・クラブメンバー募集について

- 株主1次募集（普通株式）100株
- 最終クラブメンバー数601名
※1名は名誉発起人のジャック・ニクラス氏
- 出資金1株あたり1000万円
※議決権あり、配当請求権あり、残余財産分配請求権あり

出資条件

- 東京クラシッククラブのビジョンに賛同する方
- ・株主1名の推薦書と書類審査＋コミティメンバー面接を必要とします。
- ・コミティメンバーとは、東京クラシッククラブ発起人です。
- ・出資後、別途、東京クラシッククラブへの入会手続きが必要です。